

授業改善プラン

特別支援教科（ 生活単元 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
全学年	知識・技能	自立や社会参加に必要な習慣や技能を、生徒の実態に応じて身に付ける。多くのことに挑戦する。	生徒一人一人の実態を把握し、單元ごとに目標を設定することが必要である。多くのことに挑戦し、少しずつできることが増えてきた。	実態に即した目標の設定やグルーピングを行い、学習効果を高めていく。		
	思考力・判断力 表現力	自分に与えられた役割を理解し、遂行する。	全体や他の役割に意識が入り、自分の役割に取り組めないことがある。 自分の役割の内容を確実に理解していないことがある。 学習内容を細分化し、自分の役割を視覚的に提示することが必要である。	技能的難易度を分析し、個に合わせた課題設定をする。 学習内容を細分化し、自分の役割を視覚的に提示する。		
	主体的に学習に取り組む態度	必要な道具や用具の準備を、自分から進んで行う。諦めずに根気強く、取り組む。	道具の場所を把握しておらず、授業の流れや見通しをつかめていないため、自分がやるべきことがわからない。前回の学習を思い出せないことがある。	道具や用具の配置を固定し、環境設定を工夫する。授業の流れやパターンを一定にし、見通しをもって取り組めるようにする。		

カリキュラムマネジメントの視点から
他の教科と連携し、授業を進めていく。